

# 低コスト技術導入草地畜産基盤整備事業（拡充）

## 1. 趣 旨

本事業は、開発・検証を進めている低コスト技術で実用化の目処のついたものについて、モデル的に実施し、当該技術の導入の効果の検証及び展示・啓発を行うことにより当該技術を広く一般化し、経済的で生産効率の高い基盤整備を推進することを目的として実施している。

ここで言う低コスト技術とは、低コスト技術導入草地畜産基盤整備事業実施要綱において、「近年、開発・検証を進めている新たな経済的工法、設計等」と位置づけられているが、近年の施設等の整備においては、事業コストの観点のほか、管理費の低減や環境保全等の観点から、多少建設コストが高くとも維持管理費等が従来より安価になれば、ライフサイクルコストが減少し、結果として低コストで生産効率の高い基盤整備の推進が図られる整備手法が求められている。

このため、本事業の現在の低コスト技術である「経済的工法」に、「畜産業の生産性の向上や自然環境の保全等を図るための工法」を加え、低コスト事業の推進を図ることとする。

また、本事業の結果は、「低コスト事業推進調査」を通じて「草地開発整備事業計画設計基準」に反映させることにより、畜産公共事業のコスト縮減を図るものである。

## 2. 拡充内容等

### (1) 低コスト技術の内容

低コスト技術とは、近年、開発・検証を進めている新たな工法、設計等で、次に示すものとする。

既存事業の採択条件に合致するもの

経済的な事業の執行に資すると認められるもの

飼料自給率の向上に資すると認められるもの

畜産業の生産性向上に資すると認められるもの

自然環境の保全に資すると認められるもの

低コスト技術に係る工事の実施について、事業参加者の同意を得ているもの

## 3. 事業実施主体

都道府県、都道府県公社

## 4. 補助率

既存事業の補助率

## 5. 平成18年度概算要求額

	既存事業費の内数
草地畜産基盤整備事業費補助	15,007,000 (10,992,000) 千円
畜産環境総合整備事業費補助	6,211,000 (7,246,000) 千円

【生産局 畜産部畜産振興課】